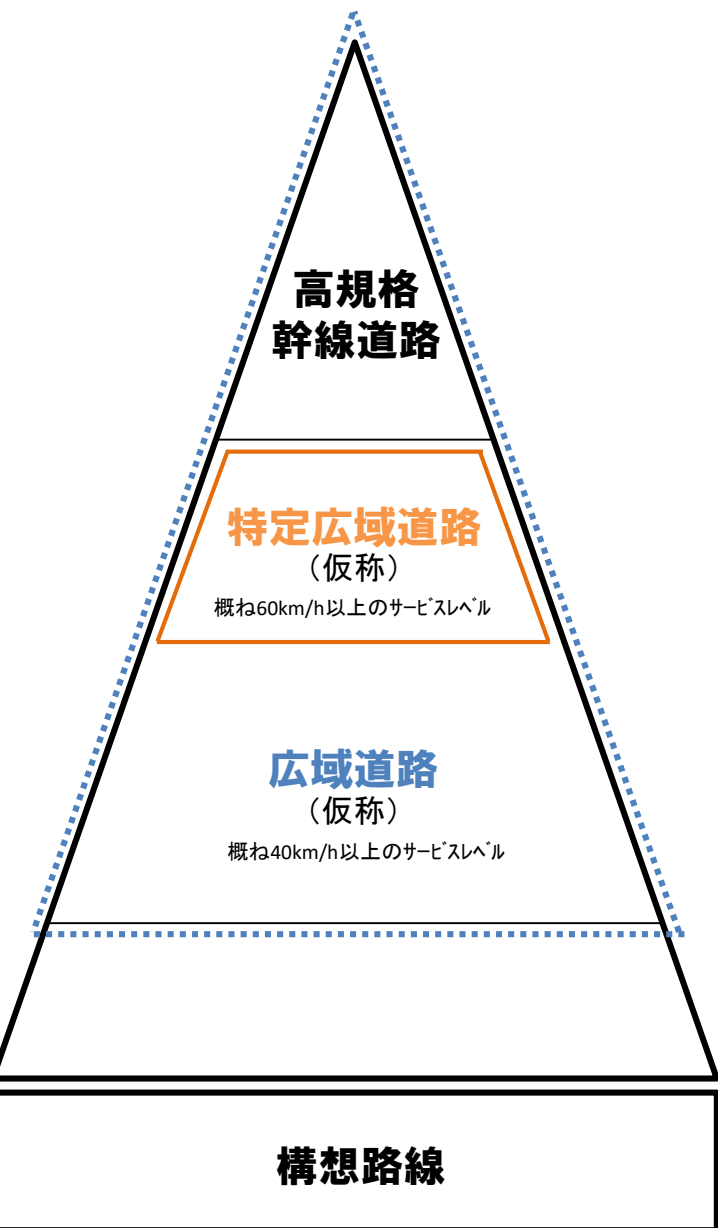


新たな広域道路ネットワークに関する 検討会の設置について

- 高規格幹線道路や直轄国道などの広域道路ネットワークについては、平常時・災害時を問わない安定的な物流・人流を確保・活性化するため、主要な都市間交通はもとより、空港・港湾等の拠点へアクセスする交通を支えるなど、総合交通体系の基盤となっている。
- 今日では、急速な人口減少が進展する一方、激甚化・頻発化する災害やインフラの老朽化等の喫緊の課題への対応も踏まえ、我が国の生産性や国際競争力を高めつつ、持続可能な社会を構築するため、全国の主要な地域や都市などの拠点を「コンパクト＋ネットワーク」で結ぶとともに、平常時・災害時を問わず、主要な拠点間の広域的な交通を安定的に支えることが重要となっている。
- 一方、我が国の広域道路ネットワークについては、慢性的な渋滞や交通事故、災害時のリダンダンシー、拠点へのアクセス性などの様々な課題を抱えている。
- そのため、これらの課題への対応や、新たな国土構造の形成、グローバル化、国土強靱化等の新たな社会・経済の要請に応えるとともに、総合交通体系の基盤としての道路の役割強化やICT・自動運転等の技術の進展を見据えた、新たな広域道路ネットワークのあり方について幅広く検討するものである。

<広域道路ネットワークのイメージ>



主に審議頂きたい事項

1. 広域道路ネットワークの強化の方向性(基本戦略)
2. 直轄国道等の「広域道路」が満たすべき要件についての考え方
3. 自動車専用道路等の規格の高い「特定広域道路」が満たすべき要件についての考え方